



SDGsにも貢献する当社企画商品

- 本社所在地：北海道札幌市東区
- 事業概要：食品包装資材・食品包装機械・ディスプレイ関連の企画製造販売および食品物流ソリューション
- 常時使用する従業員：81名
(2025年3月時点)
- 現在の売上高：93億円
(2025年3月期)
- 法人番号：4430001021097
- Web：https://www.unipack.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
古野 智揮

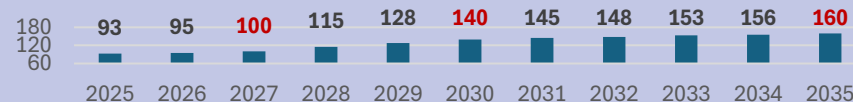
魅せる包装提案で商品価値を共に創る

食品包装は地域の食文化と産業を支える「見えないインフラ」です。当社は1976年の創業以来、北海道の食と真摯に向き合い、食品包装資材を通じて「良いものをより良く魅せ、確実に届ける」専門商社として成長してきました。新規取引も順調に拡大し、2020年から2024年の5年間で売上高を約30%伸ばし、93億円規模に到達しています。北海道の食品産業は季節変動が大きいものの、水産・農産・畜産にわたり多様な包装ニーズが存在します。当社は単なる販売にとどまらず、売場づくりや衛生管理まで支援する課題解決型営業を徹底し、食品包装資材を核としたトータル提案で安定成長を実現してきました。今後は本社隣接地での新物流センター建設やHACCP基準の物流センターの増設により、売上高100億円を確実に突破し、北海道発の全国トップクラス企業として食品包装の新たな価値を創出し、お客様と共に成長してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2027年に売上高100億円を突破し、2030年に道内シェア20%・140億円を達成、2035年には160億円に到達します。確かな成長実績を基盤に、HACCP対応を含めた大型物流施設への投資で顧客満足度を高め、北海道発の業界トップクラス企業へ飛躍します。



課題

- 物流センターの処理能力不足を解消し、安定供給体制を強化
- HACCP対応を深化させ、食品メーカーとの取引を更に拡大
- 道内700億円市場でのシェアを約13%から20%へ拡大
- シェア拡大に対応した生産性の更なる向上
- 専門人材の計画的育成と次世代リーダーの早期育成

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 物流投資：
 - ・ 本社隣接地に大型の新物流センター建設
 - ・ 既存物流倉庫をHACCP準拠物流倉庫へ刷新
- HACCP準拠設備投資による大手食品メーカーとの更なる取引拡大
- 環境配慮型包装資材の研究開発・製品化と継続的技術革新
- 全国パートナー企業との連携強化によるお客様の本州市場への販売拡大支援と相互成長の実現
- 食品包装を軸に段階的なM&Aを推進し、シナジーを最大化

実施体制

- 全部門横断で新物流センタープロジェクトを設置し、物流改革とHACCP対応を強力に推進
- 情報共有を基盤に営業および業務効率を更に高める社内システムを強化
- 賃上げ率の向上に加え、従業員の成長を適切に評価する仕組みの更なる強化により、優秀人材の定着を実現
- 自律的人材育成を促す教育プログラムを強化